

株主のみなさまへ

第189期 事業報告書

平成23年4月1日から平成24年3月31日まで



秩父鉄道株式会社

拝啓、平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申しあげます。

第189期の業績および当社グループの取り組みにつきましてご報告申し上げます。

当期におけるわが国経済は、東日本大震災後の低迷を脱し、生産活動も緩やかに持ち直しておりますが、景気の先行きについては、欧州の債務危機などを背景とする海外景気の下振れリスクや円高の定着などにより、不透明な状況が続いております。

鉄道事業を中核とした当社グループを取り巻く環境は、沿線人口や就学人口の減少に加え、震災や台風・厳冬など気候変動により厳しい状況が続いております。一方、貨物輸送はセメント生産の増加により堅調に推移いたしました。

このような情勢下におきまして、当社といたしましては関係団体と協力連携したハイキングやイベントの開催、また、記念乗車券や鉄道グッズの販売などを積極的に行い収益の向上に努めてまいりました。

その結果、当連結会計年度の営業収益は5,594,303千円(前期比1.5%の増収)、営業利益は216,882千円(前期比0.3%の減益)、経常利益は184,528千円(前期比9.5%の減益)、純利益は182,911千円(前期比7.8%の減益)となりました。

当社では、株主の皆様をはじめ、お客様、沿線地域社会の信頼に応えられる企業となるため、輸送の安全、無事故無災害の達成を最優先課題として取り組み、持続的に成長・発展することをめざしています。

今後も厳しい経営環境が続くものと予想されますが、引き続き経営基盤を強化するために、中期経営計画の遂行・効率的な人員配置・繰越損失の早期解消を重点課題とし取り組んでまいります。

平成24年6月

代表取締役社長 大谷 隆 男

事業の概況

当社グループは、鉄道事業、不動産事業、観光事業、バス事業、その他事業を営み、当社と子会社6社で構成されております。

当期におけるセグメント別の事業の概況は次のとおりです。

鉄道事業

鉄道事業におきましては、「輸送の安全確保が最大の使命である」との認識に立ち、引き続き車両の更新やコンクリート枕木化工事、継電連動装置の更新、踏切道の第1種化工事など設備面での改良に取り組みました。

営業面におきましては、関係団体などと協力した共催ハイキングを数多く開催した他、わくわくチャリティーフェスタや長瀬駅開業100周年記念イベントの開催、サイクルトレインや各種企画列車の運行、各種記念乗車券の販売などを行いました。

しかしながら、景気低迷や震災などの影響に加え、SL列車の運行期間も定期検査のために短縮となり旅客収入は前年に比べ減少いたしました。

一方、貨物収入は前年後半から続くセメント需要の回復傾向により前年に比べ増加いたしました。

以上の結果、鉄道事業の営業収益は、3,425,644千円(前期比4.4%の増収)、営業損失は、53,052千円となりました。



▲鉄道フェスタで勢揃いした車両

不動産事業

不動産事業におきましては、STハイツの賃貸状況は順調に推移いたしました。熊谷ビルの空室が増えたことにより賃貸収入は減少となりました。また、深谷市小前田の分譲地販売は、前年販売数を上回りました。

以上の結果、営業収益は522,865千円(前期比3.7%の減収)、営業利益は287,560千円(前期比2.7%の増益)となりました。



▲賃貸物件 グランツ武川

事業の概況

観光事業

観光事業におきましては、季節ごとのキャンペーンを実施するなど観光客の誘致と増収施策に努めました。その結果、期の中ごろは前年を上回る収益となりましたが、その後は初秋の台風や紅葉の遅れ、また厳冬による蠟梅や梅の開花の遅れなどの影響を受け、低調に推移いたしました。営業収益は305,691千円(前期比5.4%の減収)、営業利益は11,293千円(前期比40.5%の減益)となりました。



▲激流を下るライン下り

バス事業

バス事業におきましては、震災による旅行の見合わせにより大きな影響を受け、営業収益は423,937千円(前期比9.8%の減収)、営業損失は44,227千円となりました。



▲大型貸切バス

その他

索道事業におきましては、蠟梅や梅の開花の遅れなどが影響し輸送人員は減少いたしました。

タクシー事業におきましては、利用人員の減少や燃料費の高騰などにより厳しい状況が続きました。

卸売・小売業におきましては、本年より参入したJリーグスタジアムでの常設売店の寄与がありましたが、駅売店・コンビニなどでは売上が減少いたしました。

その他全体としては、営業収益1,317,661千円(前期比0.4%の減収)、営業損失は1,727千円となりました。



▲NACK5スタジアム売店の営業

連結財務諸表

連結貸借対照表の要旨

(単位:千円)

科 目	当連結会計年度末 (平成23年度)	前連結会計年度末 (平成22年度)	増減額
(資産の部)			
流動資産	1,888,934	1,625,925	263,009
固定資産	21,349,258	21,474,429	△ 125,171
資産合計	23,238,192	23,100,354	137,838
(負債の部)			
流動負債	3,939,287	3,636,444	302,843
固定負債	10,062,962	11,244,026	△ 1,181,064
負債合計	14,002,250	14,880,471	△ 878,221
(純資産の部)			
株主資本	△ 315,171	△ 497,394	182,223
資本金	750,000	750,000	-
資本剰余金	21,998	22,077	△79
利益剰余金	△ 1,059,264	△ 1,243,785	184,521
自己株式	△ 27,905	△ 25,686	△ 2,219
その他の包括利益累計額	9,539,940	8,706,070	833,870
少数株主持分	11,173	11,207	△ 34
純資産合計	9,235,942	8,219,883	1,016,059
負債純資産合計	23,238,192	23,100,354	137,838

※記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

連結財務諸表

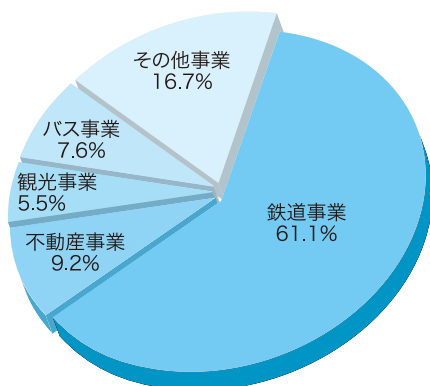
連結損益計算書の要旨

(単位:千円)

科 目	当連結会計年度 (平成23年度)	前連結会計年度 (平成22年度)	増減額
営業収益	5,594,303	5,511,706	82,597
営業費	5,377,421	5,294,096	83,325
営業利益	216,882	217,610	△ 728
営業外収益	61,667	87,794	△ 26,127
営業外費用	94,022	101,568	△ 7,546
経常利益	184,528	203,835	△ 19,307
特別利益	258,082	148,972	109,110
特別損失	255,696	147,336	108,360
税金等調整前当期純利益	186,914	205,471	△ 18,557
法人税、住民税及び事業税	5,059	6,982	△ 1,923
法人税等調整額	△ 1,001	△ 23	△ 978
少数株主損益	△ 55	23	△ 78
当期純利益	182,911	198,487	△ 15,576

※記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

セグメント別営業収益構成比



連結株主資本等変動計算書

(単位:千円)

科 目	当連結会計年度 (平成23年度)	前連結会計年度 (平成22年度)
株主資本		
前期末残高	△ 497,394	△ 687,854
(当期変動額)		
当期純利益	182,911	198,487
自己株式の処分	312	-
自己株式の取得	△ 2,610	△ 203
土地再評価差額金取崩額	1,609	△ 7,824
当期変動額合計	182,223	190,459
当期末残高	△ 315,171	△ 497,394
その他の包括利益累計額		
前期末残高	8,706,070	8,711,013
(当期変動額)		
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	833,870	△ 4,943
当期変動額合計	833,870	△ 4,943
当期末残高	9,539,940	8,706,070
少数株主持分		
前期末残高	11,207	11,156
(当期変動額)		
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△ 34	50
当期変動額合計	△ 34	50
当期末残高	11,173	11,207
純資産合計		
前期末残高	8,219,883	8,034,316
(当期変動額)		
当期純利益	182,911	198,487
自己株式の処分	312	-
自己株式の取得	△ 2,610	△ 203
土地再評価差額金取崩額	1,609	△ 7,824
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	833,835	△ 4,892
当期変動額合計	1,016,059	185,567
当期末残高	9,235,942	8,219,883

※記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

個別財務諸表

個別貸借対照表の要旨

(単位:千円)

科 目	当会計年度末 (平成23年度)	前会計年度末 (平成22年度)	増減額
(資産の部)			
流動資産	1,520,760	1,360,159	160,601
固定資産	21,061,942	21,135,826	△ 73,884
資産合計	22,582,702	22,495,986	86,716
(負債の部)			
流動負債	3,648,287	3,403,626	244,661
固定負債	9,997,623	11,203,689	△ 1,206,066
負債合計	13,645,910	14,607,315	△ 961,405
(純資産の部)			
株主資本	△ 533,603	△ 756,744	223,141
資本金	750,000	750,000	-
資本剰余金	14,106	14,106	-
利益剰余金	△ 1,269,805	△ 1,495,164	225,359
自己株式	△ 27,905	△ 25,686	△ 2,219
評価・換算差額等	9,470,395	8,645,414	824,981
純資産合計	8,936,791	7,888,670	1,048,121
負債純資産合計	22,582,702	22,495,986	86,716

※記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

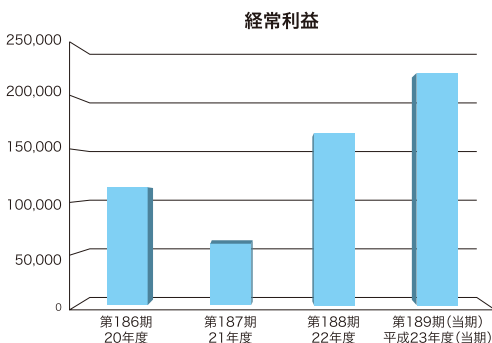
損益計算書の要旨

(単位:千円)

科 目	当会計年度 (平成23年度)	前会計年度 (平成22年度)	増減額
鉄道事業			
営業収益	3,425,644	3,281,110	144,534
営業費	3,475,451	3,386,729	88,722
営業利益	△ 49,807	△ 105,619	55,812
不動産事業			
営業収益	522,865	543,210	△ 20,345
営業費	235,198	263,098	△ 27,900
営業利益	287,667	280,112	7,555
観光事業			
営業収益	305,691	323,069	△ 17,378
営業費	292,218	301,794	△ 9,576
営業利益	13,472	21,275	△ 7,803
全事業営業利益	251,332	195,767	55,565
営業外収益	61,176	61,888	△ 712
営業外費用	88,374	91,799	△ 3,425
経常利益	224,134	165,856	58,278
特別利益	250,515	147,058	103,457
特別損失	250,023	145,529	104,494
税引前当期純利益	224,626	167,385	57,241
法人税、住民税及び事業税	1,890	1,901	△ 11
法人税等調整額	△ 1,092	-	△ 1,092
当期純利益	223,828	165,484	58,344

※記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

個別経常利益推移表



個別財務諸表

株主資本等変動計算書

(単位:千円)

科 目	当会計年度 (平成23年度)	前会計年度 (平成22年度)
株主資本		
前期末残高	△ 756,744	△ 914,200
(当期変動額)		
当期純利益	223,828	165,484
自己株式の処分	312	-
自己株式の取得	△ 2,610	△ 203
土地再評価差額金取崩額	1,609	△ 7,824
当期変動額合計	223,140	157,456
当期末残高	△ 533,603	△ 756,744
評価・換算差額等		
前期末残高	8,645,414	8,638,448
(当期変動額)		
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	824,980	6,966
当期変動額合計	824,980	6,966
当期末残高	9,470,395	8,645,414
純資産合計		
前期末残高	7,888,670	7,724,247
(当期変動額)		
当期純利益	223,828	165,484
自己株式の処分	312	-
自己株式の取得	△ 2,610	△ 203
土地再評価差額金取崩額	1,609	△ 7,824
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	824,980	6,966
当期変動額合計	1,048,121	164,422
当期末残高	8,936,791	7,888,670

※記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

当期のトピックス

わくわくチャリティーフェスタ

5月14日(土)広瀬川原車両基地にてわくわくチャリティーフェスタが開催されました。東日本大震災後の自粛ムードの中、約5000人のお客様にご来場いただき、鉄道物品販売や記念乗車券等の売り上げ金の一部を東日本大震災の復興支援基金として寄付することができました。



長瀬駅開業

100周年記念イベント

10月10日(月)長瀬駅前広場にて長瀬駅開業100周年記念イベントを開催いたしました。当日は秩父市出身の林家たい平師匠をお招きし、長瀬駅1日駅長に就任して頂いた他、有隣倶楽部にてチャリティー寄席を行いました。

宝登山小動物公園に

新しい仲間

宝登山小動物公園では、2月より「ラマ」をはじめ、数種類のウサギやヤギ・モルモットが仲間入りしました。

中でも「ラマ」は、人懐っこい性格で子供たちに大人気です。



あ の 花 エクスプレス

ANOHANA EXPRESS

秩父市を舞台のモデルとしたテレビアニメ「あの日見た花の名前を僕達はまだ知らない。」の記念トレインを1月21日(土)から約1ヶ月間運行致しました。

このアニメ放送後、秩父市ではさまざまなイベントを開催するなど、街をあげて盛り上げています。当社でも記念乗車券の発売等行い大盛況でした。



証券会社に口座をお持ちでない株主さまへ

株券電子化(平成21年1月5日実施)の際に、証券会社等の口座で当社株式を管理されていなかった株主さまの株式は、当社が日本証券代行株式会社に開設した特別口座で管理されています。

「特別口座」で管理されている株式を譲渡する場合は、特別口座と同一の名義で開設されている証券会社等の一般口座へ振替を行う必要があります。将来の株式譲渡をスムーズに行えるように、あらかじめ特別口座から一般口座に振替えておくことをお勧めします。

特別口座からの振替のご案内

日本証券代行
特別口座

特別口座で管理する株式を譲渡するためには、あらかじめ株主様ご自身名義の証券会社等の一般口座へ振替えておく必要があります。

証券会社
口座開設

証券会社に口座をお持ちでない場合は、株主様ご自身で証券会社に口座開設を行ってください。

口座振替申請書
提出

日本証券代行へ口座振替申請書を請求し、必要事項をご記入、届出を押印のうえ、口座振替申請書を日本証券代行にご提出ください。

特別口座から
証券会社口座へ
振替

口座振替は、1週間程度かかります。

証券会社口座

口座振替完了後は、株式のスムーズな譲渡が可能になります。

単元未満株式の買取・買増制度のご案内

【単元未満株式の買取請求・買増請求について】

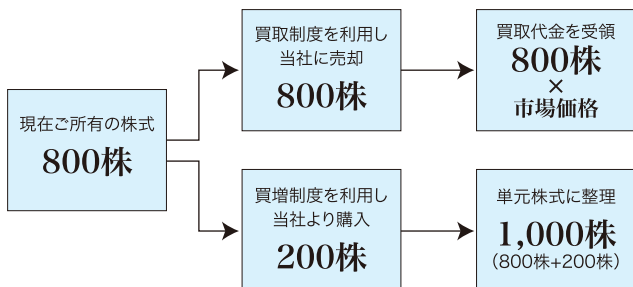
当社の単元株式数は、1000株ですので、1000株未満の単元未満株式は市場で売買することができません。

当社では、「買取請求制度」「買増請求制度」を用意しておりますので、ぜひお手続きくださいますようご案内いたします。

買取制度

ご所有の単元未満株式を当社に買取よう請求できる制度です。

(例) 当社株式を800株ご所有の場合、その800株を市場価格で当社に売却し、代金を受領する。



買増制度

ご所有の単元未満株式を1単元(1000株)の株式にする為必要な株式を買増すことを当社に請求できる制度です。

(例) 当社株式を800株ご所有の場合、200株を市場価格で当社から購入し、1000株にする。

特別口座・単元未満株式の処理についてお問合わせ下さい。

日本証券代行株式会社 代理人部 (平日9:00~17:00)

☎ 0120-707-843

役員・株主メモ

役員（平成24年6月26日現在）

代表取締役社長	大谷隆男
常務取締役	鎌倉良之
取締役	赤岩一男
取締役	中山高明
取締役	四方田俊男
常勤監査役	高田眞平
監査役	西村俊英
監査役	村上直樹

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	6月
基準日	
定時株主総会	毎年3月31日
期末配当金	毎年3月31日
中間配当金	毎年9月30日
株主名簿管理人	日本証券代行株式会社
同事務取扱所	東京都中央区日本橋茅場町一丁目2番4号 日本証券代行株式会社 本店
（郵便物送付先）	〒137-8650
お問い合わせ先）	東京都江東区塩浜二丁目8番18号 日本証券代行株式会社 代理人部 0120-707-843（フリーダイヤル）
公告方法	東京都において発行する日本経済新聞
単元株式数	1,000株
皆様へのお願い	住居表示の変更・ご転居の際は、郵便物が間違いなく届きますよう、お早めに上記株主名簿管理人にお手続きください。
ホームページ	http://www.chichibu-railway.co.jp ※鉄道ニュースやイベント情報がご覧いただけます。

株主優待制度

毎年3月31日の最終の株主名簿に記録された株主に対して、その所有株式数に応じて次のとおり優待乗車証・優待割引券を発行いたします。

1. 優待乗車証(定期券式)

ご所有の株式数に応じまして、優待乗車証を発行いたします。

ご所有株式数	乗車証の種類	発行枚数
15,000株以上 21,000株未満	当社電車全線優待乗車証	1枚
21,000株以上	当社電車全線および・索道(宝登興業株式会社 宝登山ロープウェイ)全線優待乗車証	1枚

※有効期間・・・6月1日から1ヵ年間(5月下旬発送)

2. 優待乗車証(回数券式)

ご所有の株式数に応じまして、優待乗車証を発行いたします。

ご所有株式数	発行枚数
1,000株以上3,000株未満	2枚
3,000株以上5,000株未満	4枚
5,000株以上10,000株未満	6枚
10,000株以上	10枚

※有効期間・・・7月1日から1ヵ年間(6月下旬発送)

3. 優待割引券

ご所有株式数1000株以上で、優待割引券を発行いたします。

施設名	発行枚数
宝登山小動物公園	特別入園券 5枚
長瀬ライン下り	50%割引券 各5枚
有隣倶楽部お食事代(飲み物は除く)	
ガーデンハウス有隣お食事代(飲み物は除く)	
秩鉄タクシー株式会社	運賃200円割引券 5枚

※有効期間・・・7月1日から1ヵ年間(6月下旬発送)

表紙写真・・・リニューアルしたパレオエクスプレス

 秩父鉄道株式会社

〒360-0033 埼玉県熊谷市曙町一丁目1番地

TEL 048-523-3311(代表)

URL <http://www.chichibu-railway.co.jp>

